■令和8年度那須塩原市地域共創展企画運営事業業務委託公募型プロポーザル　評価基準

No.	評価項目			評価の視点	配点
1	価格以外の評価点	提案評価(60点)	課題認識と目的理解	仕様書の背景・目的、「いきる」の定義、基本方針（成果報告や自己啓発的な展示にとどめない／挑戦途中の人も含めて多様な姿を肯定的に伝える）を、提案者自身の言葉で解釈し、展示づくりの判断軸に落とし込んでいるか。	5
2			全体企画	展示コンセプト、タイトル及び全体のストーリーが、3つの体験価値（ア 多様な「いきる」を知る／イ 可能性を広げる機会が本市にあると知る／ウ 自分とまちの可能性を感じる）を一貫した流れでつないでいるか。 個別事業を並べるのではなく、地域共創事業全体の考え方と事業間のつながりが伝わる構成か。 パーパス「好きを、編む。」及び地域共創事業の趣旨を踏まえているか。	20
3			来場者の体験設計	体験価値ア～ウのそれぞれについて、来場者が「何に出会い、どのように気づくのか」が具体的に示されているか。 特にウについて、他者の物語を自分に重ね、問いを持ち帰る仕掛けが、一方的な呼びかけに頼らずに設計されているか。 地域共創事業を知らない図書館利用者等が足を止め、関心を持つ工夫（動線・視認性・滞留）があるか。	10
4			展示コンテンツ	多様な人の考えを伝える企画（共通の問いへの回答紹介等）について、問いの設計、対象者の属性・人数、取材方法及び見せ方が具体的か。 人物紹介について、成果のみで人を選ばず、挑戦途中の人や支える人を含む選定の考え方が示され、動機・葛藤・変化等が伝わる内容か。 4事業（amカレッジ・那須地域開拓塾・リモスキルーム・NOBASU）の目的と活動が平易に伝わるか。 市が例示した企画以外に、目的に資する企画提案があるか。	10
5			表現・空間デザイン	会場（那須塩原市図書館みるる）の空間特性を踏まえ、媒体選択、レイアウト、視認性及びビジュアル表現がコンセプトと整合し、魅力的か。 展示物の規模・数量・材質が、安全性、原状回復、維持管理及び費用対効果の観点から妥当か。	3
6			関連トークイベント	展示と連動し、参加者が自分やまちの可能性に気づく内容か。成功事例の一方的な紹介に偏らない構成か。 登壇者の選定方針・登壇者像、進行、定員等が具体的で実現可能か（候補者を挙げる場合は選定理由と出演確約の有無が明記されているか）。 展示とイベントが相互に関心を高める工夫があるか。	5
7			情報発信	地域共創事業を知らない層を含め、対象に届く媒体・時期・方法が、費用対効果を踏まえて提案されているか。	5
8			効果検証	事業目的の達成度を測るための具体的な検証方法、指標が提案されているか。	2
9		企業評価(20点)	組織体制	○実施体制、人員配置は十分か ○計画実現性が担保されているか	10
10			履行実績	同種又は類似業務の実績が豊富で、企画力・専門性・独創性を生かした成果を挙げているか。	10
11	価格評価(20点)		価格	○予算上限(6,490,000円)に対して価格は抑えられているか。 (1-見積金額/提案上限金額)×価格点の配点	20
				合計	100